

## ①個別データシート

種類 エネルギー

英名 Gasoline

整理番号: JP111001

分類 石油製品・石炭製品

和名 ガソリンの燃焼

・GHG排出量 7.70E-02 kg-CO<sub>2</sub>e/MJ

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 燃焼・ガソリンの製造

・技術の内容と機能 (原油採取～分留～石油精製)～燃焼

・情報源 ガソリンの燃焼

財団法人 石油産業活性化センター:“石油、LNG及び石炭のLCA手法による比較に関する調査報告書”, (1999)  
独立行政法人経済産業研究所,“総合エネルギー統計の解説/ 2007年度改訂版”, (2009)  
環境省・経済産業省,“温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.2.4”, (2009)  
環境省,“平成13年度大気環境に係る固定発生源状況調査”, (2003)

### ・データ作成者コメント

ガソリンの燃焼に伴う大気圏排出物を温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアル、国内ボイラの平均的な排煙脱硫率(82.1%)および脱硝率(64.3%)として算出。

### ・適用範囲

温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアル、国内ボイラの平均的な排煙脱硫率(82.1%)および脱硝率(64.3%)として、ガソリンの燃焼に伴う大気圏排出物を算出したものである。

### ・システム境界

資源採取からガソリンの製造を経て、燃焼までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。容器充填を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

### ・配分

共製品はなく配分なし。

### ・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、当該燃焼由来のCO<sub>2</sub>(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
資源/原材料	中間フロー	入力	ガソリン	ガソリン	JP311001	2.12E-02	kg	ガソリンの発熱量34.6MJ/L、密度0.733kg/Lを適用
大気圏排出物	基本フロー	出力	SO2			1.10E-07	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	NOx(移動発生源)			5.78E-06	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	CO2(化石起源)			6.71E-02	kg	
製品	中間フロー	出力	燃焼・ガソリン	燃焼・ガソリン	JP111001	1.00E+00	MJ	